

令和5年度 江東商業高等学校 年間授業計画
 教科:(社会) 科目:(現代社会) 対象:(第3学年 A組~E組)
 教科担当者:(A組~E組:猪俣)

使用教科書:〇〇(〇×出版)

使用教材:〇〇(△□社)

	指導内容 【年間授業計画】	科目「〇〇」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	配当 時数
4月	オリエンテーション第1部第1章グローバル化とその問題点	近年進んでいるグローバル化の現状を把握し、グローバル化が「ヒト」だけでなく、「モノ・カネ・サービスの移動」であることを理解し、身近な問題であることを気づかせる。		3
	第1部第1章地球環境問題・破壊される地球1	地球環境問題がどのように進行しているのかを確認する。また、環境破壊の原因が人間であることを理解する。そして、地球環境問題の原因が化石燃料の大量消費であることを理解する。		3
	第1部第1章地球環境問題・地球環境保全への取り組み	地球環境問題について国際的な取り組みについて理解する。身近なところで省エネルギーの実践が大切であることを気づかせる。		3
5月	第1部第2章資源・エネルギー問題・限りある資源	現代社会は、さまざまな資源に支えられているが、石油などの資源には限りがあることを理解させる。		3
	第1部第3章生命科学と情報技術の課題・人間の生死と生命科学	生殖医療の進歩を把握し、人間の生命の誕生をコントロールすることがどのような意味や問題点をもつのかを考えさせる。		3
	中間考査 第1部第3章生命科学と情報技術の課題・遺伝情報と利用の諸課題	世界人口は急速な増加を続けており、その多くが発展途上国であることを理解し人口爆発をためるための課題が多いことも理解する。		3
	第1部第2章資源・エネルギー問題・人口問題と食糧・水資源	遺伝子をめぐる研究・科学医療技術がどこまで到達しているかを把握し、これがいかなる可能性をもっているのかを理解させる。		3
6月	第1部第3章生命科学と情報技術の課題・遺伝情報化社会と情報倫理	インターネットや情報機器の発展と関連させて、高度情報化社会とは何かを把握させる。情報化社会のなかで、どう生きるべきかを考えさせる。		3
	第1部第4章生命科学と情報技術の課題・遺伝情報と利用の諸課題	遺伝子をめぐる研究・科学医療技術がどこまで到達しているかを把握し、これがいかなる可能性をもっているのかを理解させる。		3
	第1部第3章生命科学と情報技術の課題・遺伝情報化社会と情報倫理	インターネットや情報機器の発展と関連させて、高度情報化社会とは何かを把握させる。情報化社会のなかで、どう生きるべきかを考えさせる。		3
	第2部第2章現代国家と民主政治・民主政治の成立	政治や法、国家権力が人間の社会生活において不可欠な存在であることを指摘し、民主主義における政治や法、国家権力について基本的な考え方を理解させる。		3
7月	期末考査 第2部第2章現代国家と民主政治・民主政治の基本原理	国家権力は国民の権利を守るために存在していることを確認させ、そのために国民主権の原則や権力分立の制度がうまれたことを理解させる。		3
	第2部第2章現代国家と民主政治・民主政治の基本原理	国家権力は国民の権利を守るために存在していることを確認させ、そのために国民主権の原則や権力分立の制度がうまれたことを理解させる。		3
9月	第2部第2章現代国家と民主政治・民主政治のしくみと課題	法や国家権力の目的は基本的人権の尊重にあり、そのための政治原理が国民主権であることを理解させる。国土と人口の多い国家では、国民の代表の議員が意思決定する議会制民主主義が採用されていることを確認させる。		3
	第2部第2章現代国家と民主政治・世界の主な政治制度	各国の政治制度を比較することで異なる制度が成立するに至った歴史的経緯や各国の特徴を理解させる。		3
	第2部第2章日本国憲法の基本的性格・日本国憲法の成立	明治憲法が制定された時代背景に留意しながらその内容を理解する。日本国憲法の三大原理を確認する。その際、GHQ草案の内容を補足確認し、三大原理となるものが含まれていることも確認する。		3
	第2部第2章日本国憲法の基本的性格・日本国憲法の基本的性格	日本国憲法の制定過程を確認しながら、憲法が誰の手によって作成され、どのような手続きを経て成立したのかを理解する。		3

10月	第2部2第2章日本国憲法の基本的性格・自由に生きる権利	基本的人権の考え方は「個人の尊重」を出発点にしていることを確認した上で自由が侵害されるとはどういうことかを考えさせる。個性や人格という価値を意識させ、自由がなかったときに失われるものは何かを ^{行ははせ} 考えさせる。		3
	中間考査 第2部2第2章日本国憲法の基本的性格・平等に生きる権利	人権保障の規定で、憲法は国家にどのようなことを禁じているのかを確認する。平等権を考える出発点は最初から一人ひとりが異なる個人の差異を認めたくてそれぞれの個人を尊重する、というところをおさ ^え える。その上で平等権の保障を確認する。		3
	第2部2第2章日本国憲法の基本的性格 ・社会権と参政権・請求権	社会権が必要とされるようになった背景を確認し、社会権が国家に対する関係は自由権とは対照的であることに気付かせる。		3
11月	第2部2第2章日本国憲法の基本的性格・新しい人権・人権保障の広がり	教育を受ける権利の内容とその主体は誰なのかを確認した上で「学習権」の意義について理解する。生存権の理念とその内容を理解する。朝日訴訟を取り上げこの生存権の規定をめぐる解釈の相違について理解させる。		3
	第2部2第2章日本国憲法の基本的性格・人権保障の広がり・平和主義と我が国の安全	憲法の平和主義の文言が太平洋戦争における加害と被害の両面から、深い洞察をもとにして作られていることを理解する。1950年前後の日本を取り巻く国際情勢の変化を確認し日本の防衛力が増強されてきたのか、 ^{経過を} 理解する。		3
	第2部2第2章日本国憲法の基本的性格・平和主義と我が国の安全・こんにちの防衛問題	自衛隊が海外に派遣される端緒となった1990年代の動きを理解する。さらに日米安全保障条約の改定は行われていないままであったが実質は、条約の内容を大きく変えるものであったことを確認する。		3
	第2部第3章日本の政治機構と政治参加・政治機構と国会・行政権と行政機能の拡大	国民主権を実現する政治制度としての代表民主制と権力分立制の原理を理解する。国会議員の特権、国会の権限を理解させる。とくに衆議院と参議院の議決が異なった扱いについて理解させる。		3
	第2部2第3章日本の政治機構と政治参加・行政権と行政機能の拡大・公正な裁判の保障	内閣と内閣総理大臣の役割を理解させる。議員内閣制のしくみについて理解させる。行政機能が拡大している現状について多面的に理解させ、その問題点について考える。		3
12月	第2部2第3章日本の政治機構と政治参加・公正な裁判の保障・地方自治と住民福祉	国民の権利と裁判の公正を保障するために、司法権の独立が保障され、あわせて裁判官の独立も保障されていることを理解させる。裁判には民事裁判・刑事裁判・行政裁判があることを理解する。		3
	期末考査 第2部2第3章日本の政治機構と政治参加・地方自治と住民福祉・ ^{政治政治}	住民自治の具体的なあり方、例えば地方自治法が定める直接請求権について理解させる。地方公共団体が地域の公共施設の運営や公共サービスの提供を担っていることを理解させる。		3
	第2部2第3章日本の政治機構と政治参加・政党政治	政党政治が政党を基軸にして展開される政治であることを理解する。また、現実の政党の存在を意識させるとともに、政党の違いを考えさせる。		3
	第2部2第3章日本の政治機構と政治参加・選挙制度・世論と政治参加	民主政治における選挙の重要性と、各選挙制度の基本的なしくみを理解させる。世論形成にマスメディアが果たす役割を理解させる。		3
1月	第2部3第1章現代の経済社会・経済主体と経済活動の意義	資本主義経済のなかで、家計・企業・政府がどのようなはたらきをしているのか理解させる。		3
	第2部3第1章現代の経済社会・経済社会の変容	資本主義経済と社会主義経済の動向を学び、相互に影響しあってきたことを理解させる。経済の地域化が拡大し、市場統合などが模索されていることを理解させる。		3
	第2部3第1章現代の経済社会・市場のしくみ・市場の失敗	資本主義経済においては、価格が重要な役割を担っていることを理解させる。現代の市場においては、寡占の影響で価格機能が十分に作用しないことを理解させる。		3
	第2部3第1章現代の経済社会・市場の失敗・現代の企業	市場は万能ではなく、解決できない問題があることに気づかせる。現代の企業においては、なぜ、株式会社の占める割合が非常に大きいのか考えさせる。		3
2月	卒業考査			
		答案返却・解説		1
3月				

